

安全・安心な生活のために 見守り隊の皆さんのアンケートから

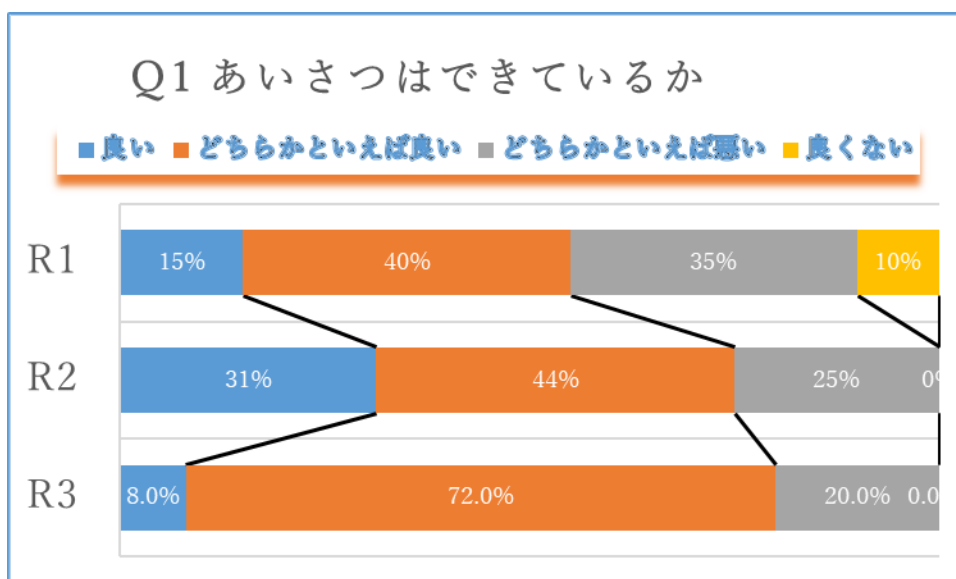
本校では、現在約30名の屋小応援隊見守り隊の皆さんが登下校の見守りをしてくださっています。そんな、見守り隊の皆さんに、12月末アンケートをお願いし、その結果をまとめました。昨年度との比較も行いましたが、課題が多くあります。子どもたちの安全意識を高め、きまりを守って登下校できるよう、学校・家庭・地域で連携して指導していかねばならないと思います。アンケートをご覧いただき、学校でも指導を行ってまいります。ご家庭でもご協力をお願いします。

※各質問について「良い」「どちらかといえば良い」「どちらかといえば良くない」「良くない」の4段階で回答していただきました。

1 児童の様子についてお聞かせください。

「よい」「どちらかといえば良い」「どちらかといえば良くない」「良くない」の4段階で評価

① ボランティアの方に「あいさつ」はできていますか



肯定率 「良い」「どちらかといえば良い」を合わせた割合 80% (R2 75%)

「あいさつ」についての肯定率は80%という評価でした。昨年より増となりました。日ごろより、見守り隊の皆様積極的に、あいさつや声がけをしていただいているおかげです。

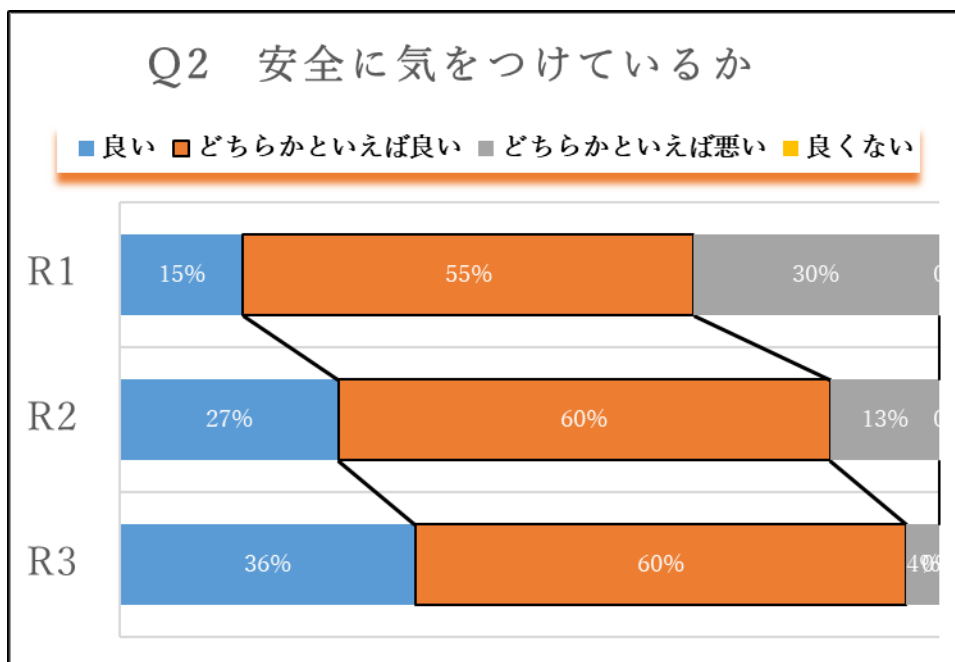
「明るくあいさつをする」は、本校の具体目標の第一に掲げ、児童会での朝のあいさつ運動や、学校長の講話の中でも積極的に呼びかけ、あいさつが響き合う屋代小学校を目指して取り組んでいます。

しかし、アンケートのコメントにも『おはようございます』と声をかけても反応が大変弱い。反応があっても声が小さい。」「自分から気持ちの良い挨拶をしてくれたらうれしいです」等とありますように、あいさつが自分から進んで気持ちよくできる子となかなかできない子の差があることは事実です。全校の子どもたちがあいさつへの意識を高められるよう、今後も指導を継続していきます。また、見守り隊の方に声を掛けられてからあいさつをするのではなく、自分



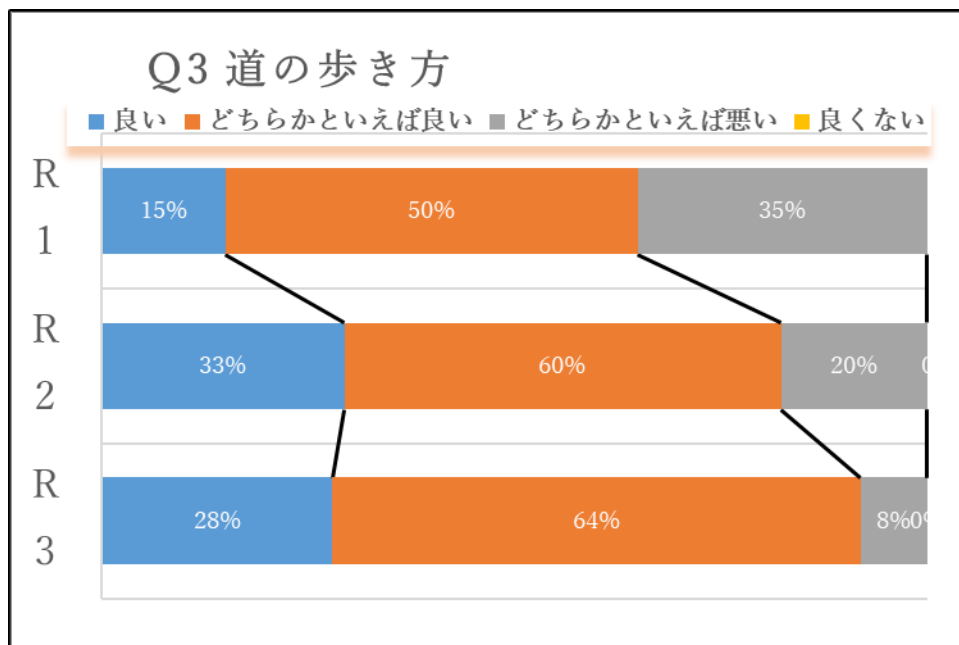
から進んでできるような子どもたちの姿を目指していきたいです。あいさつをすることによって、いつも温かく見守ってくださる地域の方々に感謝の気持ちを表せるよう、子どもたちに話をし、学校として力を入れて指導していきます。

②交通安全を含めて、「安全」に気をつけているようですか



肯定率 「良い」「どちらかといえば良い」を合わせた割合 96% (R2 87%)

③「道の歩き方」についてどうお感じですか



肯定率 「良い」「どちらかといえば良い」を合わせた割合 92% (R2 93%)

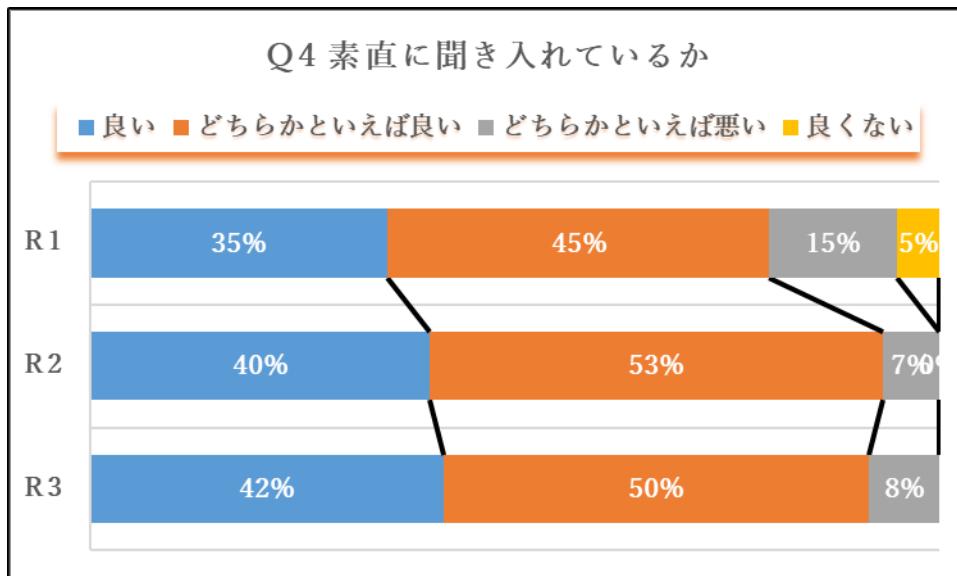
大体の子どもたちは登下校時の安全や道路の歩き方について気を付けている様子が見えましました。「一年生の交通安全について学校の指導もあり、子どもたちは歩き方にも自信を持って成長してきました。」とのご意見があり、1年生も安全に気をつける意識をもてるようになってきていること、日頃より見守り隊の皆様へ、声を掛けていただいたり、時には注意をしていただいたりし

ているおかげであると感じます。

しかし「手袋をせずにポケットに手を入れている子どもを見受ける」「自主自律登校時、神社から学校への歩道を3列から5列で歩行する」等、注意散漫な様子や危険な歩行の様子についてのご指摘いただきました。自主自律登校時、下校時、安全へ意識が緩みがちになる児童が見受けられます。上記のご指摘を十分に受け止め、学校でも引き続き、職員が定期的に街頭指導に立ったり下校時に付き添ったりして、安全に登下校できるように指導していきます。

「自分の命は自分で守る」自分の目を見て、自らの判断で行動できること子どもの姿をめざしています。これからも子どもたちが安全に登下校できるよう、家庭や地域の皆さんにご協力いただきながら取り組んでいきたいと考えています。

④ 注意を受けたことを、子どもたちは素直に受け入れているとお感じですか



肯定率 「良い」「どちらかといえば良い」を合わせた割合92% (R2 93%)

肯定率が92%であり、ほとんどの子が、注意を素直に受け止めている様子であり、安心しました。毎日、見守っていただき、見守り隊の方と心のつながりも持てている子どもたちの姿が感じられます。また、一人一人、その子に応じた注意をしていただいていることにも感謝いたします。今後も、気になることがあれば、その場で注意をしていただくとともに、素直に聞けないようなことがあれば、学校へお知らせください。

また、時には「〇〇さんは泣いている子に声を掛けていて、優しい子だね。」等、子どもたちのよい姿についても口頭や電話で教えていただくことがあります。教えていただいたことについては、必ずその子に伝えるようにしております。よい姿での連絡を受けたときには、本人はもちろん、その担任も親御さんもととてもうれしい気持ちになります。温かな眼差しで子どもたちを見守っていただき、ありがとうございます。



◆他にも大切なご意見をいただきました！

- 上級生が下級生を見ている姿は素晴らしい
- 一年生の交通安全について学校の指導もあり、子どもたちは歩き方にも自信を持って成長してきました。重いランドセルをしょって黙々と歩く姿も頼もしいです。集団登校での班長さんの見守りも4月当初からしっかりやっていました。
- 自分から気持ちの良い挨拶をしてくれたらうれしいです。
- 自主自律登校時神社から学校への歩道を3列から5列で歩行するグループがいます。1~2列歩行を守ってほしい。それ以外の歩道、歩道のない道路では車道から離れたところを歩行してほしい。自分の命は自分守ることを指導してほしい。

雨の日も、晴れの日も、雪の日も、暑い日も、寒い日も見守り隊の皆さんに、それぞれの場所で見守りをさせていただいていることに本当に感謝しております。

子どもたち、楽しいことや、うれしいことばかりでなく、時には、学校に行くことに対して気が重い日がある子もいることでしょう。そんな中でも、見守り隊の皆様、毎日、笑顔で、明るく声を掛けていただくことで、子どもたちは、励まされ、元気をいただいていることと思います。

あらためて、屋代地区の地域安全ボランティア（見守り隊、おさんぽ隊）の皆様方のご協力に感謝するとともに、今後も、地域と学校と家庭の三者が手を携えて子どもたちの安全と健やかな成長を目指し力を合わせて参りましょう。



さくら・あんず組さんの作品です。



↑あぶい出し

<夢の教室> 1月13日・14日 6年生 2月4日 5年生

元全日本バスケット選手の岡里明美さん(6松竹)、元プロラグビー選手の西山淳哉さん(6梅)、元プロフットサル選手の清水利生さん(5年)との交流をオンラインでおこないました。西山選手は「努力をしていない人はいない。ただ、できないことができるようになるまで努力をし続けることができるかどうかです。努力を継続するために仲間をたくさん作ってください。そして、継続できたなら、努力する力、夢をかなえる力等いろんな力がつきます。どんな力が着くかは人それぞれです。皆さんも夢をもち頑張ってください。」と子どもたちにメッセージを伝えてくれました。



今年、雪が多いですね。
1/21 6年生 雪かき